

研究発表の日程 ー10月25日（水）午後ー

第 1 会場

事務部門（国際貢献）	
13:00~14:15（計5題）	座長：東洋大学教授 石井 晴夫
1-1	さいたま市水道局におけるラオス人民民主共和国への技術協力 水道公社事業管理能向上プロジェクト さいたま市水道局 園田 圭佑
1-2	東ティモール民主共和国における水道局の漏水探知指導 千葉県水道局 山本 和弘
1-3	東ティモール民主共和国における浄水場の水質管理指導（Ⅱ） 千葉県水道局 丸山 洋
1-4	東ティモール民主共和国における浄水場の運転管理指導（Ⅱ） 千葉県水道局 瀧口 洋幸
1-5	マラウイ国における出前水道教室の実施 横浜市水道局 野末 博之
事務部門（財政・料金算定）	
14:20~15:35（計5題）	座長：近畿大学教授 浦上 拓也
1-6	岡山県水道、広域連携した場合の財政収支予測と料金水準 ー収益構造改善効果の検証ー ウエスコ 横 次郎
1-7	広域化に伴う水道料金差額分補助金の算出方法 株式会社広域市町村圏組合 奥島 俊
1-8	水道料金に関する関係法令と料金規制政策の適正化 浜銀総合研究所 佐藤 裕弥
1-9	財政収支シミュレーションに基づく全国の水道事業体の経営状況の将来推定 パシフィックコンサルタンツ 山崎 克
1-10	地下水利用専用水道への移行を抑制 ー流山市版特別給水契約制度ー 流山市上下水道局 金政 潤
事務部門（業務委託）	
15:40~17:10（計6題）	座長：作新学院大学名誉教授 太田 正
1-11	那珂川浄水場における運転管理業務の民間活力導入 茨城県企業局 西脇 寛
1-12	運営効率化と安定供給に寄与するICT応用運転維持管理 日立製作所 栗栖 宏亮
1-13	荒尾市水道事業の包括委託 ーPI法に基づく民間提案制度の活用ー 荒尾市企業局 小宮 智和
1-14	荒尾市水道事業の包括委託 ー事業の概要と効果・課題ー あらおウォーターサービス 松尾 晃政
1-15	災害時の情報共有を可能にするコミュニケーションシステムの開発 メタウォーター 鳥本 慎也
1-16	営業系業務委託とコールセンター業務委託の包括化 堺市上下水道局 奥永 純子
10月25日（水）午後 計16題	

第 2 会場

計画部門（再構築）	
13:00~14:30（計6題）	座長：九州大学大学院准教授 広城 吉成
2-1	水需要減少下における浄配水場の施設能力の検証事例 日本水工設計 寺井 達也
2-2	ちば野菊の里浄水場（第2期）施設整備事業の取組（Ⅰ） 千葉県水道局 宮崎 智幸
2-3	ちば野菊の里浄水場（第2期）施設整備事業の取組（Ⅱ） 千葉県水道局 長江 祐太
2-4	長期的視点に基づく水道施設整備に向けた取り組み 多気町上下水道課 中出 賢一
2-5	DBO方式による浄水場更新整備事業についての事例報告 NJS 佐藤 有一
2-6	計画設計段階におけるUAV測量の活用 水資源機構 山邊 達也
計画部門（アセットマネジメント・ビジョン）	
14:35~15:50（計5題）	座長：一橋大学大学院教授 大瀧 友里奈
2-7	水道施設機械設備におけるミクロマネジメント展開手法 w-ing 佐々木 克之
2-8	水道施設管理システムの開発 ーアセットマネジメント支援ー 埼玉県企業局 浅見 潤之介
2-9	アセットマネジメントを踏まえた耐震化事業計画の事例 東京設計事務所 澤川 貴也
2-10	アセットマネジメントに向けた設備運転データの積極的活用 ーICTシステムを用いたデータ収集・活用支援ー メタウォーター 戸田 浩一
2-11	阪神水道企業団における水道用水供給ビジョン改定のための取組 阪神水道企業団 居安 祐治
計画部門（水需要予測）	
15:55~17:10（計5題）	座長：北海学園大学准教授 山本 裕子
2-12	雪の影響を考慮した水需要予測手法 東芝 山原 裕之
2-13	急激な人口減少と水需要の減少に直面したドイツ東部の水道事業に関する事例研究 大阪水道総合サービス 三輪 雅幸
2-14	屋内家庭用水の用途別水使用量 ー実測値とアンケートによる予測値の比較ー 一橋大学 大瀧 友里奈
2-15	生活用原単位の動向と生活様式等の要因に関する一考察 東京設計事務所 馬場 未央
2-16	大学キャンパスにおける使用水量調査 ー立命館大学びわこ・くさつキャンパスの事例ー 立命館大学 清水 聡行
10月25日（水）午後 計16題	

第 3 会場

浄水部門（膜ろ過①）	
13:00~14:15（計5題）	座長：お茶の水女子大学大学院教授 大瀧 雅寛
4-5	浜松市における浄水処理研究の取り組み 大電川表流水を用いた急速ろ過法と浸漬膜法の処理比較 ー浜松市上下水道部 竹田 俊介
4-6	膜ろ過前処理設備としての生物接触ろ過装置の性能評価 神戸大学大学院 長谷川 進
4-7	淀川における浸透型PIFE膜を用いたハイブリッド膜ろ過システム適用に係る研究 ー高塩基度PACによる有機物除去と生物処理の両立に向けた調査ー 阪神水道企業団 瀧野 博之
4-8	生物接触ろ過後段の精密ろ過膜モジュール付着したファウリングの解析 神鋼機械ソリューション 小野田 圭介
4-9	FEEMによるファウリングコンディションの評価に関するアプローチ ーL-FEEM-TMDSによるファウリングポテンシャルの解析ー w-ing 貝谷 良英
浄水部門（膜ろ過②）	
14:20~15:50（計6題）	座長：東京大学大学院教授 吉米 弘明
4-10	膜汚染原因物質のオンラインモニタリングを目指したFEEM-PARAFACによる溶存有機物の挙動評価 w-ing 林 益啓
4-11	固体3D-EEMによる中空糸膜に蓄積した膜ファウリング物質の非破壊連続観測 中央大学 瀧 勝
4-12	凝集後に残存するメソ粒子の構成成分と起源の推定 中央大学大学院 石川 大輔
4-13	淀川を原水とした浄水処理への膜ろ過技術の適用可能性に関する調査 大阪市水道局 柏原 利行
4-14	浸透膜を用いた膜ろ過システムの淀川への適用性評価 w-ing 山本 崇史
4-15	淀川原水への浄水セラミック膜ろ過技術の適用（Ⅱ） メタウォーター 村田 直樹
浄水部門（膜ろ過他）	
15:55~16:55（計4題）	座長：中央大学准教授 山村 寛
4-16	低水頭差膜ろ過システムの実用化に向けた高濃度原水対応膜モジュールの研究 クラレ 竹下 俊光
4-17	高濃度水性親水化PVDF膜を用いた実証 連続 水道機工 今野 和
4-18	沈殿処理水へのフロック散布による過濁度低下事例 今治市水道部 浅井 一作
4-19	金属硫化物添着ろ材を用いたハロ酢酸駆動物質の除去 東京大学大学院 天野 充
10月25日（水）午後 計15題	

第 4 会場

水源・取水部門（水質障害・監視）	
13:00~14:15（計5題）	座長：京都大学大学院准教授 小坂 浩司
3-1	戸隠水湖において発生したUroglena淡水赤潮への対応 長野市上下水道局 矢島 悠一
3-2	小河内貯水池の流域土壌における全リン含有量の要因分析 首都大学東京大学院 小林 将之
3-3	荒川本川におけるかび臭発生藍藻類の発生事例（Ⅲ） 埼玉県企業局 三上 雅人
3-4	道志川系におけるかび臭物質（2-MIB）の検出事例 横浜水道局 窪 謙佑
3-5	超音波処理装置による貯水池のオゾン抑制対策 水資源機構 佐々木 優貴子
水源・取水部門（水質予測・保全・漏水対策）	
14:20~15:50（計6題）	座長：県立広島大学教授 西村 和之
3-6	水源におけるバイパスシステム導入に伴う原水水質予測調査 札幌市水道局 高橋 麻子
3-7	小河内貯水池周辺におけるマツ枯れの状況とその対策 東京水道局 高屋 陽平
3-8	貯水池流動シミュレーションにおける湖上風の与え方から吹送流に及ぼす影響 首都大学東京大学院 松永 真弥
3-9	水圧駆動式水中排出口ロボットを用いた取水施設沈砂池のしゅんせつ エコアドバンス 鳥田 毅
3-10	小河内貯水池の流入河川における出水時のSS輸送量の推定 首都大学東京大学院 高木 裕雄
3-11	水文モデルを用いた相模ダム流域の気候変動影響評価 横浜市水道局 初山 将
給水装置部門（研究・技術開発）	
15:55~17:10（計5題）	座長：東京大学教授 山本 和夫
6-1	大口径メーター継手の継手漏水未然防止対策への取組み 金沢市企業局 坂 祥一郎
6-2	複数区域への均一給水を確保するバルブ兼工業 松浦 伸幸
6-3	硫化物分散型PbフリーCu合金CAC411の水道水中での腐食挙動 滋賀県東北部工業技術センター 安田 吉伸
6-4	JIS H5120の改定によるCAC411の水道メーター材料 彦根市上下水道部 杉本 剛史
6-5	密着ステンレス管簡易挿入機の開発 ー簡便な施工をめざしてー 日邦バルブ 山下 和宏
10月25日（水）午後 計16題	

- 第1会場……………高松シンボルタワー 1F 展示場 A
- 第2会場……………高松シンボルタワー 1F 展示場 B
- 第3会場……………サンポートホール高松 5F 第2小ホール A
- 第4会場……………サンポートホール高松 5F 第2小ホール B
- 第5会場……………サンポートホール高松 5F 54会議室
- 第6会場……………サンポートホール高松 6F 61会議室
- 第7会場……………サンポートホール高松 7F 第1リハーサル室
- 第8会場……………サンポートホール高松 7F 第3リハーサル室
- 第9会場……………サンポートホール高松 4F 第1小ホール

第 5 会場

浄水部門（凝集沈澱・排水処理①）	
13:00～14:30（計6題）	
座長：立命館大学教授	神子 直之
4-60	脈動形高速凝集沈澱池の性能向上に関する検討（Ⅴ） — 巻流機構付きトランクリャーによる水質改善効果 — オルガノ 國東 俊朗
4-61	脈動形高速凝集沈澱池の性能向上に関する検討（Ⅵ） — 汚泥濃度計による粉灰抑留量の確認 — 新潟市水道局 伊藤 諭之
4-62	脈動形高速凝集沈澱池における水質改善方法の検討 — 水中攪拌機と PAC 注入点最適化の効果確認 — 久留米市企業局 鹿田 大貴
4-63	低 pH 低アルカリ度地下水における除鉄・除マンガ処理方法の研究 ナガオカ 宮本 岳志
4-64	鉄バクテリア法を用いた浄水場の運用事例 — 井戸の組み合わせを考慮した運転方法のメカニズム — 神岡環境ソリューション 寺元 大介
4-65	2次亜塩素酸ナトリウムを用いたカビ除去に関する報告 北九州市上下水道局 川野 智裕

浄水部門（凝集沈澱・排水処理②）	
14:35～15:35（計4題）	
座長：石巻専修大学教授	高崎 みつる
4-66	混和池における RB 式フラッシュミキサーの有効性に関する検討 メタウォーター 久本 祐貴
4-67	濃縮槽への回転羽根付フラッシュ操機への適用（Ⅱ） — 実施における濃縮性能の改善（通年比較） — 西原環境 山浦 研二郎
4-68	浄水汚泥に含まれる硫酸酸化物の固定化処理によるセラムクス原料への有効活用に関する検討 香川県産業技術センター 横田 耕三
4-69	低動力型圧搾式加圧脱水機による省エネ化の検証 石垣 能勢 昌

浄水部門（凝集）	
15:40～17:10（計6題）	
座長：東北大学大学院教授	西村 修
4-70	ゼータ電位を指標とした凝集剤注入率の評価 滋賀県企業庁 大方 正倫
4-71	マイクロフロック（MF）の流動電流と凝集反応の最適化（Ⅱ） — ポテンシャルエネルギー（PE）の合成 — 特別会員 山崎 満佳
4-72	原水の粒度分布が凝集剤注入率に及ぼす影響 月島テクノメンテサービス 佐藤 弘佳
4-73	画像処理型凝集センサによる水質制御システム 東芝 有村 良一
4-74	適応共鳴理論を用いた凝集剤注入支援技術の開発 日立製作所 陰山 晃治
4-75	既存浄水施設への薬品注入設備導入による水質改善効果と注意点 和歌山市水道局 勝本 昌宏
10月25日（水）午後 計16題	

第 6 会場

水質部門（試験方法）	
13:00～14:30（計6題）	
座長：国立医薬品食品衛生研究所部長	五十嵐 良明
8-1	LC/MS/MS 法による水道水中のアニリン・キノリン同時分析法 三重県環境保全事業団 吉川 浩司
8-2	要検討項目の分析法の検討 東京都水道局 西田 実
8-3	浄水処理対応困難物質の試験方法の検討 千葉県水道局 谷中 和弥
8-4	水道水中非イオン界面活性剤の告示法の選択性 東京都健康安全研究センター 小杉 有希
8-5	浄水の加熱によるトリハロメタン最大生成能試験法の確立 川崎市上下水道局 仲田 義信
8-6	非炭酸塩硬度のばらつきの原因と対策 東洋環境分析センター 若松 勝男

水質部門（生物・微生物①）	
14:35～15:35（計4題）	
座長：香川大学教授	永末 慶貴
8-7	水道原水のクリプトスポリジウム汚染リスク低減化に関する調査 神奈川県広域水道企業団 栗田 志広
8-8	青森市内の水道原水におけるノロウイルスの存在調査 青森市企業局 古川 紗那香
8-9	かび臭を発生する藍藻類（アナベナ）の増殖を制御する細菌の調査（Ⅲ） 神戸市水道局 清水 武俊
8-10	Phormidium tenue のかび臭産生能に与える光条件の影響 京都市上下水道局 横井 貴大

水質部門（生物・微生物②）	
15:40～17:10（計6題）	
座長：山梨大学大学院准教授	原本 英司
8-11	DNA アプタマーを用いた簡易ヒ素分析法の開発 北海道大学大学院 松永 光司
8-12	DNA アプタマーを用いた簡易ノロウイルス検出法の開発 北海道大学 吉原 光
8-13	特定酵素蛍光基質を用いた河川水中の簡易大腸菌数測定法の開発 北海道大学大学院 菊地 凱
8-14	黄色ブドウ球菌簡易測定法の開発 北海道大学大学院 山口 拓郎
8-15	遺伝子検査法を用いた浄水処理障害害生物（かび臭産生藍藻類）の検出 横浜市水道局 平 健司
8-16	福山市上下水道局におけるクリプトスポリジウム遺伝子検出法の独自マニュアル 福山市上下水道局 高橋 拓也
10月25日（水）午後 計16題	

第 7 会場

導・送・配水部門（管路更新①）	
13:00～14:15（計5題）	
座長：首都大学東京特任教授	小泉 明
5-1	跨道・路線橋に添架された万博・山田送水管の更生工事の施工事例 吹田市水道部 白澤 静敏
5-2	非開削工法（SDF 工法）を含む軌道下幹線管の更新工事 堺市上下水道局 井澤 利之
5-3	大口径管路更新工事における巻き込み鋼管を用いた PIP 工法の採用 千葉県水道局 大木 亮
5-4	二重管形式による単独水管橋の施工事例 京都市上下水道局 増田 綾子
5-5	水理解析を活用した管路工事の省力化 — 事例紹介「仮設配管工事の省略」 — 上越市ガス水道局 石田 正則

導・送・配水部門（管路更新②）	
14:20～15:35（計5題）	
座長：千葉大学大学院准教授	丸山 善久
5-6	高槻市における埋設環境の腐食影響度評価と重要度評価による铸铁管路の更新優先順位検討 高槻市水道部 石田 裕二
5-7	新技術を取り入れた管路管理に関する研究 — 将来の不確実性に対応した水道管路システムの再構築に関する研究 — 水道技術研究センター 菖蒲 光徳
5-8	水道施設更新新針による配水管路の健全度変化に関する評価分析 首都大学東京 稲貝 とよの
5-9	基幹管路の更新・再構築計画策定手法の提案 — 将来の不確実性に対応した水道管路システムの再構築に関する研究 — 水道技術研究センター 安達 徹
5-10	人口減少社会における重要管路の冗長性を伴う更新計画に関する費用対効果分析 — PIP 単価と系統連絡管延長に着目した分析 — 首都大学東京大学院 長谷川 高平

導・送・配水部門（震災対策・被害予測）	
15:40～17:10（計6題）	
座長：東京都市大学教授	長岡 裕
5-11	震災時における配水管の断水に関するフロック別影響分析 首都大学東京 中 友哉
5-12	モンテカルロシミュレーションを用いた震災時の断水率の推定 首都大学東京 國實 晋治
5-13	配水ネットワークにおける管路事故による影響を考慮した管路更新優先度に関する評価分析 首都大学東京 阿部 豊
5-14	液状化地盤内における水道配水用ポリエチレン管路挙動に関する研究 配水用ポリエチレンパイプシステム協会 大室 秀樹
5-15	管路取り合い部に作用する液状化荷重の実験的検討 神戸大学 吉井 純貴
5-16	振動台を用いた埋設管路引抜き実験による地盤摩擦力の速度依存性に関する研究 神戸大学大学院 稲瀬 友樹
10月25日（水）午後 計16題	

第 8 会場

導・送・配水部門（管路管理）	
13:00～14:15（計5題）	
座長：北海学園大学教授	余湖 典昭
5-44	管網解析を用いた湧水予測手法の検討 管網解析 大江 真理子
5-45	管路洗浄水の河川排水における水勢低減機材の開発 横浜市水道局 村上 智美
5-46	横浜市内における残塩均等化に向けた取組 横浜市水道局 小山 洗絵
5-47	工事現場における水道事業の PR 東京都水道局 黒田 政博
5-48	耐震型ダクトイル鉄管の施工情報システムの開発 クボタ 山下 彰

導・送・配水部門（管路技術①）	
14:20～15:50（計6題）	
座長：横浜国立大学客員教授	藤江 幸一
5-49	TS 型配水管内面洗浄における劣化シールドの捕捉 — シールド劣化の傾向と TS 洗浄の効果 — 東京水道サービス 市吉 純二
5-50	大口径管路（人孔ふたφ600mm）の不連続取替工法 福岡地区水道企業団 渡邊 幸紀
5-51	中口径用「簡易型水圧試験機」の実用性向上 栗本鐵工所 平田 祥一
5-52	中口径水圧試験機のシールド現場での実証試験 広島市水道局 津田 哲哉
5-53	鋼管によるシールドトンネル配管の工期短縮方法 日本水道鋼管協会 柏原 宣尚
5-54	大阪都心を縦貫する幹線ネットワークの整備 — 共同溝内の大深度・長距離施工例 — 大阪市水道局 吉澤 源太郎

導・送・配水部門（管路技術②）	
15:55～17:10（計5題）	
座長：東北工業大学学長	今野 弘
5-55	首都高速 1 号羽田線更新計画に伴う大井水管橋の構造変更設計 東京都水道局 早川 純一
5-56	第二原水連絡管整備工事における第 4・第 5 工区の地中接合 東京都水道局 赤池 陽介
5-57	大土披り高水圧条件下のトンネル設計 東京都水道局 井上 峻志
5-58	先行工事の施工上の課題を踏まえたシールドマシン設備の採択 東京都水道局 井出 佳樹
5-59	ステンレス・フレキ管による既設管内挿入工法 — 90度曲管対応型 口径500mm の開発 — デック 福島 大輔
10月25日（水）午後 計16題	

第 9 会場

リスク管理・災害対策部門（リスク評価）	
13:00～14:15（計5題）	
座長：金沢大学大学院教授	宮島 昌克
9-27	事故・トラブルの発生状況と人的ミスの分析と対応 神奈川県内広域水道企業団 山田 浩貴
9-28	配水小管工事における事故防止重点対策の策定 東京都水道局 成田 陵
9-29	水道水源流域の水収支の数理モデル化と気候変動影響評価 — 埼玉県水道の地球温暖化適応策の検討 — 埼玉県企業局 山内 康正
9-30	地下水を原水とした消毒のみの浄水場を対象とした水安全計画における代表的な危害とその監視・対応方法 横浜市水道局 和田 亮太
9-31	表流水を水源とする急速ろ過方式の浄水場における水安全計画を用いた代表的な危害対応方法の解析 神奈川県内広域水道企業団 江端 克明

リスク管理・災害対策部門（耐震化対策①）	
14:20～15:50（計6題）	
座長：北海道大学大学院教授	松井 佳彦
9-32	津波対策としての耐震ダクトイル鉄管の有効性研究 日本ダクトイル鉄管協会 飯出 淳
9-33	主要 3 水系バックアップ管路事業の概要と効果 山形市上下水道部 宮野 健
9-34	可搬型エンジンポンプを活用した水系二系統化整備 仙台市水道局 森 勇太
9-35	系統連系再閉路機能増設 データベース 細川 忠幸
9-36	大阪市水道局における自家発電設備設置計画 大阪市水道局 鈴木 良寿
9-37	豊川用水における既設サイホンの改築 — 豊川用水二期事業（大規模地震対策） — 水資源機構 川下 公嗣

リスク管理・災害対策部門（耐震化対策②）	
15:55～17:10（計5題）	
座長：名古屋大学准教授	平山 修久
9-38	地下式配水池における耐震計算法の比較分析事例 日水コン 今村 健一
9-39	劣化進展が見られる PC タンクの調査・診断事例 日水コン 吉野 広信
9-40	水管橋の合理的な耐震診断 — 補強検討事例 — 日水コン 葛籠杖 健之
9-41	ダクトイル鉄管による断層対策（Ⅰ） — 米国での境界面曲げ水密性能評価 — クボタ 小田 圭太
9-42	ダクトイル鉄管による断層対策（Ⅱ） — 断層横断部の管路設計方法の研究 — クボタ 金子 正吾
10月25日（水）午後 計16題	

研究発表の日程 —10月26日（木）午前—

第 1 会 場

第 2 会 場

第 3 会 場

第 4 会 場

シンポジウム（9：00～10：30）

事務部門（情報システム） 10:50～12:20（計6題） 座長：日本水道協会調査部長 玉野井 晃	計画部門（その他） 10:50～12:20（計6題） 座長：八戸工業大学大学院教授 福士 憲一	浄水部門（活性炭・凝集剤） 10:50～12:20（計6題） 座長：大阪工業大学准教授 笠原 伸介	給水装置部門（スマートメータ他） 10:50～12:20（計6題） 座長：東京大学大学院教授 吉米 弘明
1-17 高槻市水道料金給水システム再構築の総括 高槻市水道部 康本 成和	2-17 大阪府における権限委譲に伴う水道事業の基盤強化 一部道府県水道行政からのアプローチ 大阪府健康医療部 吉村 友希	4-20 高性能粉末活性炭によるカビ臭物質の低減化 福岡県南広域水道企業団 石橋 健二	6-6 震災時に水使用状況が把握できる水道メーターの研究 愛知時計電機 早瀬 義喜
1-18 GISの高度化利用と水道部統合（仮想）サーバー導入に伴う統合台帳システム運用 阿南市水道部 多田 和洋	2-18 積算システムの再構築と新機能の開発 大阪市水道局 下川邊 敬介	4-21 高性能粉末活性炭を用いたカビ臭除去性能調査 京都市上下水道局 荻野 賢治	6-7 箱根地区におけるスマートメーター共同研究 JFEエンジニアリング 森垣 紀子
1-19 官民連携や非常時利用を考慮した水道施設台帳 水道法改正の目的実現に向けて－ 日本コン 白岩 慎隆	2-19 千葉県水道局独自の水道施設設計指針の改訂 千葉県水道局 板倉 清隆	4-22 高性能粉末活性炭の急速ろ過処理への適用に関する共同研究 京都市上下水道局 船岡 英彰	6-8 水道版スマートメータ（使用水量の見える化、みまもりサービス）に関する技術の開発 東京都水道局 野澤 太一
1-20 不審メール着信状況把握の高水準化 不審メール連絡ボタンによる通報データの活用－ 東京都水道局 小西 洋輝	2-20 横浜市水道局における土木工事完成検査の成績評定の分析と考察 公共工事の品質確保に関する課題と取組－ 横浜市水道局 七田 尚哉	4-23 凝集沈殿砂ろ過後の微粉炭の残留性 －粒径分布と荷電－ 北海道大学大学院 信野 光貴	6-9 水道・ガスメーター無線自動検針システムの実証実験 横浜市水道局 榎沼 大
1-21 狙われる公営企業ホームページ サイバー攻撃の実態と水道事業者が取るべき対策－ PUC 庭崎 正己	2-21 技術的課題の解決に向けた職員アンケート調査 千葉県水道局 川内 崇浩	4-24 超高塩基度 PAC を用いた浄水処理実験 横浜市水道局 渡辺 太郎	6-10 メータ検針の効率化に係る無線通信実証実験（Ⅱ） 大阪市水道局 田島 直樹
1-22 窓口取納システムの改善 取納状況のリアルタイム反映を目指して さいたま市水道局 横川 泰史	2-22 建設副産物の有効利用による環境負荷低減及び工事費削減への効果 川崎市上下水道局 上田 晶久	4-25 水質が異なる2種の原水に対する高塩基度 PAC の適応性の比較 水 ing 栗村 淳一	6-11 IoT時代の新技術「LPWA」による水道自動検針導入 －SIGFOXおよびLoRaWANの採用・実用化－ 第一環境 菊地 和彦
10月26日（木）午前 計6題	10月26日（木）午前 計6題	10月26日（木）午前 計6題	10月26日（木）午前 計6題

第 5 会 場

第 6 会 場

第 7 会 場

第 8 会 場

第 9 会 場

シンポジウム (9:00~10:30)

浄水部門 (実態調査) 10:50~12:05 (計5題) 座長: 国立保健医療科学院上席主任研究官	水質部門 (消毒副生成物) 10:50~12:20 (計6題) 座長: 金沢工業大学教授 土佐 光司	リスク管理・災害対策部門 (被害予測・災害事故対応) 10:50~12:20 (計6題) 座長: 国立保健医療科学院統括研究官	導・送・配水部門 (管路技術③) 10:50~12:20 (計6題) 座長: 横浜国立大学教授 岡崎 慎司
4-76 水道技術研究センターの新しい共同研究 (A-Batons) の概要 - 変化に対応した浄水技術の構築に関する研究の取組み (I) - 前澤工業 根本 雄一	8-17 石川浄水場における溶存オゾン濃度と THMFPP 除去率調査 沖縄県企業局 石嶺 孝児	9-16 活断層変位による埋設管被害の軽減対策 (I) - 対策検討フローの構築 - 金沢市企業局 三井 弘光	5-60 小口径配水管の耐用年数等に関する調査 名古屋市上下水道局 富永 裕貴
4-77 事業体へのアンケート調査による浄水処理障害や水質障害の実態 - 変化に対応した浄水技術の構築に関する研究の取組み (II) - フノウ 矢野 正人	8-18 大阪府内浄水場におけるハロアセトアミド類の検出特性 大阪健康安全基盤研究所 高木 総吉	9-17 活断層変位による埋設管被害の軽減対策 (II) - 対策手法と対策範囲の検討 - 金沢市企業局 増田 哲史	5-61 NS 形ダクタイル鉄管 (E 種管) 本格採用に向けての検証 三沢市上下水道部 駒沢 大地
4-78 観測浄水施設維持管理マニュアルの改訂に向けて - 変化に対応した浄水技術の構築に関する研究の取組み (III) - 神鋼環境ソリューション 藤本 瑞生	8-19 高度浄水プロセスにおけるハロアセトアミド及びその前駆物質の挙動 神奈川県企業庁 岩谷 梓	9-18 平成28年熊本地震を踏まえた「地震による管路被害予測」の見直しに関する検討 水道技術研究センター 石川 裕一	5-62 NS 形 E 種管の施工性評価と管種の使い分け基準の策定 吉野川市水道部 藤原 有基
4-79 アンケート調査による技術継承の実態と課題 - 変化に対応した浄水技術の構築に関する研究の取組み (IV) - 水道機工 惣名 史一	8-20 東京都水道局における臭気に対する取組 - シクロヘキシルアミンの塩素反応物の調査 - 東京都水道局 森内 裕香	9-19 台風10号における岩泉町簡易水道施設の被災状況とその減災のための一考察 盛岡市上下水道局 畑山 大輔	5-63 導水路新設工事における仮設インクライン採用の比較検討 札幌市水道局 鈴木 聖人
4-80 技術継承のための浄水処理技術データベースの構築 - 変化に対応した浄水技術の構築に関する研究の取組み (V) - メタウォーター 小山内 教	8-21 綾速ろ過池におけるトリクロロ酢酸生成抑制対策 東京都水道局 渡辺 瑛恵	9-20 台風上陸により長期化した高濁度原水への対応 北見市上下水道局 上田 賢	5-64 庭窪万博系統連絡管の事業概要及び立坑の築造計画 大阪広域水道企業団 小谷 智也
10月26日 (木) 午前 計5題	8-22 Orbitrap 質量分析計を用いた未知消毒副生成物前駆物質の探索と浄水処理特性の評価 東京大学大学院 春日 郁朗	9-21 原水水質変化への浄水場の対応を踏まえた体制整備 岐阜県東部広域水道事務所 石原 慎一郎	5-65 第二北総～成田線送水管推進工事における磁気探査を活用した地中構造物調査 千葉県水道局 松井 孝治
	10月26日 (木) 午前 計6題	10月26日 (木) 午前 計6題	10月26日 (木) 午前 計6題

熊本地震部門 基調講演
(10:50~11:30)

熊本市上下水道事業管理者
永目 工朗

熊本地震部門 (応急給水・応急復旧①)
11:35~12:20 (計3題)
座長: 日本水道協会工務部長兼水道技術総合研究所長 芦田 裕志

- 10-1 熊本地震における水道水水質管理
熊本市上下水道局 山元 健資
- 10-2 支援活動の経験から得たもの
豊橋市上下水道局 後藤 佳充
- 10-3 熊本地震における水道技能スペシャリストの復旧支援活動
川崎市上下水道局 今泉 賢一
- 10月26日 (木) 午前 計3題

研究発表の日程 —10月26日（木）午後—

第 1 会場

事務部門（広報①）		計画部門（広域連携①）	
13:00～14:30（計6題）		13:00～14:30（計6題）	
座長：札幌大学教授 宇野 二郎		座長：東京大学大学院教授 滝沢 智	
1-23	千葉県水道局給水80年歴史資料展の開催 千葉県水道局 清宮 佳幸	2-23	広域化における小規模水源の可能性 ～良質な水源がもたらすもの～ 岩手中部水道企業団 千葉 章世
1-24	広島市水道資料館のリニューアル開館 ～被爆建物の保存と広報拠点としての活用～ 広島市水道局 森井 真冬	2-24	岩手中部水道企業団広域統合の効果 ～統合から3年間の検証～ 岩手中部水道企業団 菊池 明敏
1-25	長沢浄水場における広報施設の整備 川崎市上下水道局 東 知子	2-25	埼玉県企業局とときがわ町との水道にお ける技術連携 ～用水供給事業者と受水事業者との広域 連携事例報告～ 埼玉県企業局 梨木 義春
1-26	高松市水道資料館の耐震補強等工事 ～有形文化財（建造物）の登録を受けて いる水道施設等の保存と活用～ 高松市上下水道局 山下 耕治	2-26	香川県における水道事業の広域化 ～県内一水道を目指して～ 高松市上下水道局 遠藤 智義
1-27	近代化遺産「藤倉水源地」の保全と広報 への活用 秋田市上下水道局 佐藤 修生	2-27	近隣水道事業者との連携協力 ～道内連携の具体的な取組～ 札幌市水道局 根岸 祥人
1-28	インフォグラフィックスの手法による分 かりやすい財務情報の発信 京都市上下水道局 丸谷 文優	2-28	四国における水道事業と費用構造から見 た水道広域化の可能性 法政大学大学院 蘆原 哲哉

事務部門（広報②）		計画部門（広域連携②）	
14:35～16:05（計6題）		14:35～15:50（計5題）	
座長：高松市上下水道局お客さまセンター所長 滝井 正光		座長：金沢大学教授 池本 良子	
1-29	大学連携による水道工事PRツール作成 横浜市水道局 柴田 友咲子	2-29	水質検査施設の共同運営事例 日本水道協会 笹山 弘
1-30	広報プランの策定と広報媒体としての ペットボトル水の活用 福島市水道局 遠藤 渉	2-30	神奈川県内5水道事業者の連携による広 域水質管理センターの設立 神奈川県内広域水道企業団 河村 裕之
1-31	多様な水源確保を行うシガボールの取組 千葉県水道局 和田 一宏	2-31	久谷地区簡易水道統合整備事業 松山市公営企業局 長野 耕佑
1-32	伝わる広報 ～外国人市民への広報を研究してわかっ たこと～ 横浜市水道局 白藤 友希子	2-32	奈良県内簡易水道の現状と施設運営傾向 （Ⅱ） ～事業継続に係る検討パターンの分類～ 奈良県水道局 浅田 宏行
1-33	お客さまのコミュニケーション広報活動の展開 ～広報戦略の策定とおかやま水道カード の発行～ 岡山市水道局 前田 慎二郎	2-33	人口減少下における小規模集落への給水 手法検討事例 ～検討対象地区における経済性と維持保 全性の評価～ 水道技術研究センター 田中 稔
1-34	施設開放デーでの利き水10年のまとめ 神奈川県企業庁 小瀬 恵美子		

事務部門（広報③）		事務部門（広域化・広域連携）	
16:10～17:25（計5題）		15:55～16:55（計4題）	
座長：福岡大学大学院教授 柳橋 泰生		座長：高松市上下水道局企業総務課主任 伊瀬 智示	
1-35	公民連携で無限に広がる可能性 ～全国初の特別授業の開催～ 横浜市水道局 堀越 彩織	1-57	垂直・水平統合における部分最適化と全 体最適化 岩手中部水道企業団 小原 太吉
1-36	子ども向け水道水PRプログラム「わく わく すいどうひらば」の実施 京都市上下水道局 山村 香奈	1-58	兵庫県水道事業の将来に向けて ～兵庫県水道事業のあり方懇話会 中間 報告～ 兵庫県企業庁 池藤 八起
1-37	「甌上浄水場で自由研究」の取組 京都市上下水道局 浅井 憲和	1-59	近隣市町による経理事務担当者会議の創設 ～経理からはじめるカジュアルな広域化～ 大津市企業局 山本 晋平
1-38	地域に密着した“水”の広報活動の展開 ～子供たちの未来へのメッセージ～ 神戸市水道局 青木 梨恵子	1-60	広域化後の将来を見据えた官民連携形態 ～群馬県東部水道企業団の事例～ 日水コン 三迫 陽介
1-39	給水開始80周年記念事業におけるイベ ント活動 千葉県水道局 山崎 郁子		

10月26日（木）午後 計17題

第 2 会場

第 3 会場

浄水部門（高度浄水処理①）		浄水部門（高度浄水処理②）	
13:00～14:30（計6題）		14:35～16:05（計6題）	
座長：東京大学大学院准教授 春日 郁朗		座長：京都大学大学院教授 伊藤 禎彦	
4-26	霞ヶ浦を水源とする新たな浄水処理手法 の実証実験（Ⅱ） ～帯磁性イオン交換樹脂と促進酸化処理 を組み合わせたシステム評価（Ⅲ）～ 茨城県企業局 石崎 孝幸	4-32	促進酸化処理が活性炭中微生物におよぼ す影響の評価 京都大学 今井 謙一郎
4-27	霞ヶ浦を水源とする新たな浄水処理手法 の実証実験（Ⅲ） ～帯磁性イオン交換樹脂の処理特性～ 茨城県企業局 高谷 駿介	4-33	埼玉県新三郷浄水場における生物活性炭 更新期間の検討 埼玉県企業局 北條 祐真
4-28	浄水への紫外線照射による促進酸化処理 の検討（Ⅰ） ～次亜塩素酸ナトリウム～紫外線照射の 連続実験によるかび臭の除去～ 高松市上下水道局 造田 莉沙	4-34	高度浄水処理における有機指標の除去 （Ⅰ） ～全有機炭素（TOC）の除去～ 千葉県水道局 川名 夏未
4-29	浄水への紫外線照射による促進酸化処理 の検討（Ⅱ） ～実装置でのコスト比較・処理性能向上 の可能性調査～ フワウ 一番ヶ瀬 宏之	4-35	高度浄水処理における有機指標の除去 （Ⅱ） ～紫外線吸光度（UV260）の除去～ 千葉県水道局 植田 雄大
4-30	小笠原村母島における浄水場新計画案 の検証 首都大学東京 柳 智之	4-36	東村山浄水場におけるBAC池再生炭の 性状調査 東京都水道局 細田 憲男
4-31	滞留時間を考慮した小笠原副浦浄水場の 除去特性の分析 首都大学東京 山崎 公子	4-37	Orbitrap質量分析計を用いた生物活性炭 が除去する生分解性有機物の分子組成の 推定 東京大学大学院 鈴木 美有

浄水部門（高度浄水処理③）	
16:10～17:25（計5題）	座長：福山市立大学教授 堤 行彦
4-38	大阪広域水道企業団における新しいオン ズン適用方法 大阪広域水道企業団 上野 加寿紀
4-39	3段向流オンズン接触槽におけるオンズ ン反応の構築 阪神水道企業団 中村 英清
4-40	金町浄水場高度浄水処理におけるオンズ ン注入率調査 東京都水道局 下陸 舞
4-41	庭窪浄水場 後ろ施設の導入と工事の 進捗状況 大阪広域水道企業団 尼丁 将太
4-42	高度浄水施設稼働後におけるろ過継続 時間の検討 北千葉広域水道企業団 白井 朝啓

10月26日（木）午後 計17題

第 4 会場

給水装置部門（鉛管・地震関係）	
13:00～14:15（計5題）	
座長：関東学院大学准教授 鎌田 素之	
6-12	鉛管解消対策 ～効果的な採水方法の検討～ 高松市上下水道局 木村 守
6-13	鉛製給水管使用者等への広報活動にかか る報告 大阪市水道局 松野 光治
6-14	鉛製給水管使用者への個別通知再開にお ける堺市上下水道局の取組 堺市上下水道局 山田 一平
6-15	東日本大震災給水装置被害状況調査の報 告 給水工事技術振興財団 林 幸一
6-16	東北地方太平洋沖地震後の給水装置工事 の状況（Ⅱ） 仙台市水道サービス公社 大庄司 顕

給水装置部門（直結給水・貯水槽水道）	
14:20～15:50（計6題）	
座長：麻布大学准教授 大河内 由美子	
6-17	貯水槽水道の適正管理及び直結給水の促 進 千葉県水道局 坂本 優
6-18	貯水槽水道における残留塩素素子漏モレ の構築 東京都水道局 畔柳 哲也
6-19	金属製逆止弁付メータパッキンの開発 業本商事 南 潤基
6-20	共同研究事業の成果に基づく「直結給水 システムにおける逆流防止システム設置 のガイドラインとその解説」の策定 給水工事技術振興財団 増田 伸介
6-21	給水装置における逆流防止対策の強化に 向けた取組み ～逆止弁付メータパッキン検証事例～ 札幌市水道局 佐野 恭輔
6-22	逆止弁付メータパッキンに関する一考察 タプチ 藤田 容彬

給水装置部門（給水材料・メータ等）	
15:55～17:25（計6題）	
座長：関東学院大学准教授 鎌田 素之	
6-23	各種水道用ポリエチレン管金属継手「耐 震強化型」の耐震性評価報告 前澤給装工業 土井 克也
6-24	水道用ポリエチレン二層管金属継手の耐 震性能の検証試験 給水システム協会 田原 圭吾
6-25	地震時における給水用高密度ポリエチ レン管の耐震性評価 京都大学 西川 源太郎
6-26	再使用可能な集合住宅向け仮設給水材料 光明製作所 尾岡 隆佑規
6-27	メータ口径選定の適正化とその効果 舞鶴市上下水道部 佐藤 知佳
6-28	配水管の脈動による水道メータの挙動 に関する実験 京都市上下水道局 尾崎 正志

10月26日（木）午後 計17題

第 5 会場

機械・電気・計装部門（維持管理）	
13:00～14:15（計5題）	
座長：日本水道協会検査部長兼	
品質認証センター長 波多野 純一	
7-1	活性炭受入の省力化 －ウェット活性炭注入設備でドライ活性炭を使用する試み－ 埼玉県企業庁 南口 翼
7-2	タブレット端末とARマーカーを利用した設備管理 －現場経験に左右されない誰にでもできる設備管理を目指して－ 兵庫県企業庁 松尾 育浩
7-3	保全・図面情報管理システムの更新 －最新のIT技術を用いて維持管理を支援する－ 大阪広域水道企業団 神原 稔昌
7-4	箱根地区水道事業運営におけるICT及びAIの導入 －漏水対応の迅速化、水運用の安定化への取り組み－ JFEエンジニアリング 福井 優志
7-5	IoTを活用した加圧ポンプの状態監視 水みらい広島 村中 雄飛

機械・電気・計装部門（設備新設・更新）	
14:20～15:50（計6題）	
座長：香川県水道局県営水道事務所次長	
小野 章彦	
7-6	停電時における送配水設備としてのハイブリッドポンプ採用の考え方 阪神水道企業団 平野 俊介
7-7	大規模ポンプ施設における回転数制御設備の更新 千葉県水道局 谷口 政弘
7-8	砕砕水場非常用自家発電設備取替工事 －デュアルフェーズ式発電設備の導入－ 東京都水道局 小原 義隆
7-9	東京都水道局三郷浄水場沈砂池除じん機の更新 －樹脂パネル製デュアルフロー型除じん機の採用－ 東京都水道局 永井 芳明
7-10	水道施設監視システム統合 －広域施設の監視情報システムの構築－ 岡市水道部 桂田 長司
7-11	DBM（デザインビルドメンテナンス）一括契約方式による桶取取水場電気機械設備整備 大阪市水道局 小西 義博

機械・電気・計装部門（検証・開発、その他）	
15:55～17:25（計6題）	
座長：日本水道協会工務部長兼	
水道技術総合研究所長 芦田 裕史	
7-12	逆水ポンプのキャピテーション対策事例 大阪広域水道企業団 梶原 裕喜
7-13	松原ポンプ場ポンプ設備及びバルブ設備設置工事における送水ポンプ設備の騒音・振動対策（Ⅱ） －騒音低減設計－ 大阪広域水道企業団 大野 鏡三
7-14	前次垂注入プロセスのモデリングおよびシステム同定 群馬工業高等専門学校 平岡 実輔
7-15	水道施設への複合電源システムの運用検証 東京都水道局 常包 翔
7-16	機械学習を用いたセンサ知保全への取り組み 横河ソリューションサービス 佐藤 智紀
7-17	IoT対応水位計と水位計システムの開発 横河ソリューションサービス 杉本 敦史

10月26日（木）午後 計17題

第 6 会場

水質部門（水質監視・制御①）	
13:00～14:15（計5題）	
座長：北海道大学大学院教授 岡部 聡	
8-23	土師ダム貯水池で発生する2-MIBの原因に関する調査 広島市水道局 中田 浩三
8-24	水源地ダムにおける生ごみ臭発生とその対策と取組み メタウォーターサービス 齋 博行
8-25	頓田貯水池における定期硫酸銅散布の藍藻抑制効果 北九州市上下水道局 野見山 倫太郎
8-26	蛍光光度計による生物数の連続監視 京都市上下水道局 竹田 昇雄
8-27	奈良泉桜井浄水場における消毒副生成物の水質管理 奈良県水道局 倉田 彰弘

水質部門（水質監視・制御②）	
14:20～15:50（計6題）	
座長：北海道大学大学院教授 岡部 聡	

8-28	原水水質異常帯域に関する調査 東京都水道局 大岩 祐児
8-29	未知物質による水質事故への対応 東京都水道局 島田 祐介
8-30	沈砂池への遮光ネットの設置によるpH値の上昇抑制 栃木県企業局 福田 悦子
8-31	逆水のトリハロメタン対策 福岡地区水道企業団 下田 佳祐
8-32	トリハロメタン生成予測式の検討 高松市上下水道局 梶川 真史
8-33	浄水処理におけるハロ酢酸生成能の構成比に関する検討 前澤工業 野嶋 義教

水質部門（水質監視・制御③）	
15:55～17:25（計6題）	
座長：岐阜大学准教授 山田 俊郎	

8-34	E260値と水温の関係式による塩素制御 広島市水道局 加登 俊樹
8-35	おいしい水づくりに向けた残留塩素低減化の取組み 千葉県水道局 本田 恵理
8-36	おいしさと安全性の両立に向けた東京水道の挑戦 －残留塩素低減化に向けた取組－ 東京都水道局 和田 正豊
8-37	残留塩素低減化に向けた水質管理の徹底 －安全で高品質な水の供給をめざして－ 東京都水道局 太田 美乃
8-38	工場排水に含まれる未規制物質への対応（Ⅰ） －関連機関との連携－ 新潟市水道局 庭山 秀一
8-39	工場排水に含まれる未規制物質への対応（Ⅱ） －化学分析と関連データ解析における連携と知見－ 新潟市水道局 福田 圭佑

10月26日（木）午後 計17題

第 7 会場

導・送・配水部門（管路更新③）	
13:00～14:15（計5題）	
座長：北海道協会大阪支所長 宮内 謙	
5-17	名古屋市における持続可能な配水管網整備事業のあり方 名古屋市上下水道局 肥田 悠
5-18	水道配水用ポリエチレン管における水垢検査を用いた不漏水工法に関する一考察 配水用ポリエチレンパイプシステム協会 大久保 太陽
5-19	水道配水用ポリエチレン管のスクイズオフ工法評価（φ150・φ200） 配水用ポリエチレンパイプシステム協会 高見 安孝
5-20	水道配水用ポリエチレン管不漏水分岐割工字管性能評価 配水用ポリエチレンパイプシステム協会 伊藤 祐也
5-21	管路更新における水圧試験施工基準策定の取り組み 川崎市上下水道局 加藤 雅規

導・送・配水部門（アセットマネジメント）	
14:20～15:35（計5題）	
座長：首都大学東京大学院准教授 荒井 康祐	

5-22	水道管路におけるアセットマネジメントの実践に向けた実行可能なマイクロマネジメント構築の取組み（Ⅰ） －技術的知見に基づく更新需要の平準化に向けて－ 佐世保市水道局 笹山 太
5-23	水道管路におけるアセットマネジメントの実践に向けた実行可能なマイクロマネジメント構築の取組み（Ⅱ） －合理的な管路更新を目指した鋼鉄管の腐食と破裂の相関性調査－ 佐世保市水道局 渡部 公亮
5-24	水道管路におけるアセットマネジメントの実践に向けた実行可能なマイクロマネジメント構築の取組み（Ⅲ） －導水管のマイクロマネジメントデータ活用による評価手法検討－ 栗本鐵工所 畑中 哲夫

導・送・配水部門（腐食・防食）	
15:40～16:55（計5題）	
座長：首都大学東京大学院特任教授 箱員 とよの	

5-25	水道管路におけるアセットマネジメントの実践に向けた実行可能なマイクロマネジメント構築の取組み（Ⅳ） －管路状態の可視化によるマイクロマネジメント－ フジテコム 金元 豊
5-26	アセットマネジメントのレベルアップに向けた取り組み 横須賀市上下水道局 渡邊 紀喜

10月26日（木）午後 計15題

第 8 会場

導・送・配水部門（配水池①）	
13:00～14:15（計5題）	
座長：首都大学東京特任教授 小泉 明	
5-66	配水池健全度の把握に向けた取り組み（Ⅲ） 神奈川県企業庁 岩本 進太郎
5-67	同心円2槽式タンクへのアルミ屋根の適用 アルミニウム合金製屋根工法協会 堀之内 靖幸
5-68	貯水用コンクリート構造物の設計基準 －British Standardと国内基準の比較－ 安部日鋼工業 河合 真樹
5-69	コンクリートのアルカリ溶出抑制材（AAEコート）の各種試験結果報告 安部日鋼工業 河野 雅弘
5-70	水中ロボットの活用による調整池清掃作業 神奈川県内広域水道企業団 西片 一成

導・送・配水部門（配水池②）	
14:20～15:50（計6題）	
座長：東京都市大学教授 長岡 裕	

5-71	配水池の経年劣化に対する「けい酸塩系表面含浸材」の効果検証報告 川崎市上下水道局 志村 友行
5-72	制震ゴムによる矩形貯水槽の動水圧低減に関する検討（Ⅱ） 森松工業 青木 大祐
5-73	岩田給水場1・2号配水池耐震補強工事に伴う滞留防止対策 千葉県水道局 露崎 和良
5-74	圓流分離式貯水槽免震技術 ベルデック 小川 みず穂
5-75	機械室建屋一体型ステンレス鋼製角形配水池の設計・施工 －新大久保配水池 1,020m ³ － JFEエンジニアリング 池田 直生
5-76	配水池内部におけるコンクリート脆弱劣化に対する調査及び補修 東京都水道局 箕輪 大希

導・送・配水部門（バルブ他）	
15:55～17:25（計6題）	
座長：高松市上下水道局水道整備課長 丸山 修士	

5-77	高寿命耐震管用バタフライ弁の性能 栗本鐵工所 竹政 理晴
5-78	岡山市における基幹管路弁類の点検及び維持管理計画策定 岡山市水道局 池内 大介
5-79	耐震型ダクタイル鉄管用メタルシート仕切弁の開発 クボタ 根路銘 介介
5-80	非開閉による埋設鋼管の塗覆剥離調査 広島市水道局 村上 大輔
5-81	長寿命無溶剤エポキシ樹脂塗料塗装方法の施工事例 －日本水道協会規格JWWA K 157：2013 附属書E 適用工事－ JFEエンジニアリング 深井 大
5-82	PCB等を含む渣滓の処分 愛知県企業庁 野田 昌吾

10月26日（木）午後 計17題

第 9 会場

熊本地震部門（応急給水・応急復旧②）	
13:00～14:30（計6題）	
座長：首都大学東京大学院特任教授 箱員 とよの	
10-4	熊本地震 応援給水の教訓と対策 鹿児島市水道局 福永 修三
10-5	振取制限を伴う給水継続による災害時の水質リスク管理 －2016年熊本地震での事例による－ 名古屋大学 平山 修久
10-6	アンケート調査による平成28年熊本地震の応援給水活動の実態把握と課題の抽出 国立保健医療科学院 下ヶ橋 雅樹
10-7	熊本地震における支援活動 久留米市企業局 阿久根 孝治
10-8	震災時のSNS（ツイッター）等による情報収集を応急復旧の迅速化に繋げる新たな仕組みの構築 東京都水道局 齊藤 慎太郎
10-9	熊本地震に伴う給水活動で得た教訓 京都市上下水道局 田井中 進

熊本地震部門（応援活動）	
14:35～15:50（計5題）	
座長：関東学院大学教授 若松 加津江	

10-10	他都市応援受け入れマニュアルの策定 －円滑な受け入れと迅速な災害対応を目指して－ 名古屋市上下水道局 小澤 亮輔
10-11	平成28年熊本地震における被害状況と日本水道協会の対応 日本水道協会 渡部 英
10-12	熊本地震における新潟市の支援活動 新潟市水道局 林 達典
10-13	平成28年熊本地震の教訓を踏まえた日本水道協会関東地方支部の取組 横浜市水道局 鈴木 円花
10-14	熊本地震支援から見た課題 －福岡市水道局の支援、受援体制－ 福岡市水道局 西小路 晃

熊本地震部門（初動態勢①）	
15:55～17:10（計5題）	
座長：香川大学准教授 野々村 敦子	

10-15	応急給水支援の受け入れを取り入れた災害対策訓練 神奈川県企業庁 中條 佑子
10-16	首都直下地震時の大規模な応援隊の受入を想定した総合的な受援実動訓練の実施 東京都水道局 小川 公介
10-17	被災事業者への応援要請に関するコーディネーター的な役割を担う、地方支部を越えた新たな連携関係を構築 東京都水道局 保永 政幸
10-18	いつ、どこで被災しても、迅速かつ円滑に応援隊を派遣する仕組み【東京水道災害救援隊（TokyoWater Rescue）】の創設 東京都水道局 武井 明彦
10-19	札幌市における熊本地震の応援活動後の取組み 札幌市水道局 上田 健太郎

10月26日（木）午後 計16題

研究発表の日程 —10月27日（金）午前—

第 1 会 場

事務部門（営業業務）	
9:00～10:30（計6題）	
座長：三重大学教授 朴 恵淑	
1-40	水道料金等弁護士対応未収金回収業務 —弁護士法人を活用した未収金回収のモデル実施— 北九州市上下水道局 藤岡 加奈子
1-41	大阪市における水道料金の未収金対策 大阪市水道局 永井 顕広
1-42	徴収率と窓口サービス向上への取組 —窓口業務の民間委託— 丸亀市水道部 遠山 弘美
1-43	納付方法の多様化等によるお客さまサービス及び取納率の向上 —口座振替割引制度の導入に伴う効果等— 高松市上下水道局 岸下 知世
1-44	水道管路管理図の交付 京都市上下水道局 黒崎 久司
1-45	検針お知らせ票における「音声コード」導入の検討 —視覚障害者向けの新たなサービスの提供— 埼玉水道サービス公社 倉林 克昌
事務部門（研修・人材育成他）	
10:35～12:05（計6題）	
座長：東京経済大学教授 青木 亮	
1-46	ICTを活用したお客さまサービスの向上 —三位一体（お客さまサービスの向上・コストの削減・業務の効率化）の業務改革— 福岡市水道局 上釜 大和
1-47	水道関係法令遵守のための取組 —業務管理システムの継続的運用— 川崎市上下水道局 野中 優子
1-48	水道施設の工事設計及び工事安全管理における強化 札幌市水道局 瀬川 一弘
1-49	水道技術職員の人材育成 —水道研修計画の策定及びサポート体制の導入— 愛知県企業庁 加藤 庸一
1-50	新潟市における浄水技術継承の取組み —浄水技術向上のためのスキルマップ活用— 新潟市水道局 伊藤 義隆
1-51	浄水場のリスク管理へ向けた職員研修 旭川市水道局 八木 泰樹
10月27日（金）午前 計12題	

第 2 会 場

リスク管理・災害対策部門（災害事故対応）	
9:00～10:00（計4題）	
座長：番川大学准教授 石塚 正秀	
9-1	危機管理対策の取組評価とその手法 阪神水道企業団 水上 勝
9-2	浄水場の非常定業務や水質事故を対象とした業務標準化の検討 日立製作所 横井 浩人
9-3	地理情報システム上に登録した水質事故情報の活用 埼玉県企業局 松本 雄佑
9-4	水質監視業務への地理情報システム（GIS）の活用 東京都水道局 長 健太
リスク管理・災害対策部門（応急給水）	
10:05～11:05（計4題）	
座長：神戸大学大学院准教授 鍛田 泰子	
9-5	発災初期において迅速に応急給水を開始するための取組み 名古屋市上下水道局 前田 周吾
9-6	災害時臨時給水栓（ふっQ すいせん）の整備 神戸市水道局 木寅 雄一郎
9-7	耐震給水栓の整備 横浜市水道局 海野 佑太
9-8	災害時給水所の認知度向上 横浜市水道局 加賀美 慎吾
浄水部門（施設更新）	
11:10～12:10（計4題）	
座長：国立保健医療科学院 席主任研究官 下ヶ橋 雅樹	
4-1	急速ろ過池に対する処理水量増加時のリスク対応及び長期停止時の運用再開方法 神奈川県内広域水道企業団 鎌田 智子
4-2	アセットマネジメント推進計画の見直し —土木施設に着目したコスト縮減— 兵庫県企業庁 森安 里夫
4-3	滝沢浄水場更新整備等事業 —新潟県浄水場の建設— 会津若松市水道部 遠藤 利哉
4-4	山岳地域に位置する大丹波浄水場の更新 東京都水道局 藤沢 大
10月27日（金）午前 計12題	

第 3 会 場

浄水部門（紫外線処理）	
9:00～10:15（計5題）	
座長：首都大学東京准教授 酒井 宏治	
4-43	水中懸濁物質の光散乱特性の評価方法 —紫外線処理における光散乱の影響評価への適用— お茶の水女子大学 大瀧 雅寛
4-44	反射光を考慮した高効率紫外線照射装置の検討 水道機工 野村 実
4-45	小型紫外線LED照射装置を用いた実験条件に関する一考察 大阪府健康医療部 烏居 将士
4-46	UV-LED消毒装置の開発 —素子による不活性化性能の違い— 水ing 五十嵐 倫子
4-47	濁度管理技術を補完する地表水への紫外線処理の適用 水道技術研究センター 栗原 潮子
浄水部門（ろ過処理）	
10:20～11:50（計6題）	
座長：東京大学准教授 小熊 久美子	
4-48	緩速ろ過池の濁度除去機構に関する調査 名古屋市上下水道局 梶田 拓弥
4-49	緩速ろ過システム安定化に関する共同研究 —研究施設による実験報告（Ⅱ）— 盛岡市上下水道局 富井 健
4-50	緩速ろ過システム安定化に関する共同研究 —研究施設による実験報告（Ⅱ-2）— 日本原料 上田 篤
4-51	緩速ろ過水塩素要求量の影響要因 データベース 早田 昂太郎
4-52	旋回流浄機構を備えた圧力式ろ過器のろ過性能の向上 荏原実業 水野 英俊
4-53	ろ過方程式を用いた複層ろ過処理の水処理性能推定手法 大阪市水道局 中村 美葉子
10月27日（金）午前 計11題	

第 4 会 場

英語部門（浄水・水質・その他）	
9:00～10:15（計5題）	
座長：国立保健医療科学院 席主任研究官 越後 信哉	
11-1	Failure Corresponding of the Sleeve Valve to Utilize for the Asset Management アセットマネジメントへ活用するスリーブ弁の故障対応 大阪広域水道企業団 坂上 研亮
11-2	Development of Water Safety Plans (WSPs) —Securing Safe Water to People living in Metropolitan Area of Thailand— 水安全計画（WSP）の構築 —タイ首都圏住民に安全な水供給の確保— タイ王国首都圏水道公社 Chaweeapan Suangkiattikun
11-3	Investigation of removal-inactivation ratio of <i>Cryptosporidium</i> for QMRA クリプトスポリジウムに対する定量的微生物リスク評価を志向した除去・不活性化率調査 東京都水道局 松本 祐樹
11-4	The state of compound detection in the water resource of Tokyo waterworks —Items for further study: Perfluorinated compounds, Dioxin and Perchlorate— 東京都水道局の水源地における要検討項目の検出状況 —有機フッ素化合物、ダイオキシン類及び過塩素酸— 東京都水道局 栗田 翔
11-5	Reviews into the Simple and Objective Pipeline Re-laying Environment Assessment of Using Geographic Information Systems (GIS) —Streamlining Pipeline Micromanagement— 地理情報システム（GIS）を活用した管路の簡易かつ客観的な環境評価の検討 横浜市水道局 市毛 植人
英語部門（国際協力・計画・その他）	
10:20～11:35（計5題）	
座長：国立保健医療科学院 席主任研究官 島崎 大	
11-6	JICA's Knowledge Co-Creation Program at Kobe City 神戸市における JICA 課題別研修の取組み 神戸市水道局 高田 浩太郎
11-7	International cooperation activities by Chiba Prefectural Waterworks Bureau for Timor-Leste 千葉県水道局による東ティモール民主共和国への国際協力活動 千葉県水道局 林田 武志
11-8	Development of Optimal Capital Investment Planning Model for Sustainable Asset Management of Waterworks: Case Study in Korea 持続可能な水道資産管理のための最適投資計画モデルの開発：韓国の事例 ソウル市立大学 金 基範
11-9	A Comparative Study of Water Treatment Systems between Domestic and Overseas Utilities 水道の国際比較に関する研究 —国内外浄水処理調査— 水道技術研究センター 溝口 真二郎
11-10	Perception of local residents against new water treatment technologies at suburban area of Yangon 新しい水処理技術に対する住民の受容性 —ヤンゴン市郊外における研究調査— 首都大学東京 酒井 宏治
10月27日（金）午前 計10題	

第 5 会場

機械・電気・計装部門（環境対策）
9:00～10:15（計5題）
座長：日本水道協会検査部長兼
品質認証センター長 波多野 純一

7-18	未利用圧力の有効利用によるポンプ場の省エネ更新計画の策定 香川県水道局	野村 真司
7-19	配水施設廃止による省エネ化促進事例 -末端施設における加圧ポンプ直結給水- 大津市企業局	奥野 誠
7-20	埼玉県企業局の省エネ手法 埼玉県企業局	町田 邦光
7-21	配水ポンプ設備更新事業の省エネルギー効果と課題 さいたま市水道局	清水 彬文
7-22	二酸化炭素排出抑制対策事業費等補助金活用による省エネ機器導入 -上水道システムにおける省 CO ₂ 促進モデル事業- 徳島市水道局	吉崎 浩史

リスク管理・災害対策部門
（リスク管理・その他）
10:20～12:05（計7題）
座長：高松市上下水道局維持管理課長
末澤 直樹

9-9	石巻市震災復興における民間企業の人的支援に関する報告 フワウ	須崎 岐嗣
9-10	大垣町水道施設の災害復旧業務 -堺市職員派遣報告-	堺市上下水道局 五味 真也
9-11	地震システムリスク解析を用いた耐震化対策の検討 NIS	林 健太
9-12	現場で管路情報を利用するための手法 -日常業務から有事の際の活用に向けて- ジオプラン	後藤 紫
9-13	船舶給水装置におけるクロスコネクション -味覚異常事故への対応と対策-	高松市上下水道局 大上 高弘
9-14	水質情報管理システムの開発と活用方法に関する検討 -水質情報を一元化したプラットフォームの開発-	広島県環境保健協会 森 道史
9-15	局情報インフラ最適化への取り組み 名古屋市上下水道局	玉田 哲也

10月27日（金）午前 計12題

第 6 会場

水質部門（農業類・精度管理）
9:00～10:30（計6題）
座長：国立医薬品食品衛生研究所室長

8-40	次亜塩素酸ナトリウム水溶液中におけるアミトラス及びその分解物の挙動 東京都健康安全研究センター	中川 慎也
8-41	環境水中における農業類の一斉分析法及び存在実態調査 東京都健康安全研究センター	木下 輝昭
8-42	粉末活性炭による水道原水中の農業吸着除去に関する研究 福岡市水道局	大野 光世
8-43	有機リン系殺虫剤ダイアジノンの塩素処理に伴うコリンエステラーゼ活性阻害性の変動 北海道大学大学院	大森 圭
8-44	金属類混合標準液の安定性 岐阜県公衆衛生検査センター	早川 和宏
8-45	小規模施設での水道 GLP 認定取得後2年間の水道水質検査における業務改善の取り組み 高槻市水道部	中村 優美子

水質部門（浄水処理性・その他）
10:35～12:20（計7題）
座長：国立環境研究所主席研究員 大野 浩一

8-46	蔵王山噴火を想定した原水水質の評価と浄水処理対策 仙台市水道局	北本 洋紀
8-47	ホルムアルデヒドを生成する浄水処理対応困難物質7種の処理性調査（Ⅰ） -生成特性調査-	大阪健康安全基盤研究所 吉田 仁
8-48	ホルムアルデヒドを生成する浄水処理対応困難物質7種の処理性調査（Ⅱ） -処理性調査-	大阪広域水道企業団 上田 航太郎
8-49	油類の高度浄水処理性（Ⅰ） -分光蛍光光度計を活用した処理性評価-	大阪市水道局 外山 義隆
8-50	油類の高度浄水処理性（Ⅱ） -GC-TOFMS を活用した処理性評価-	大阪市水道局 藪内 宣博
8-51	水道水の保存性に関する調査 横浜市水道局	水野 信輝
8-52	専用水道に該当せず地下水を利用するスポーツクラブ施設等の水質に関する考察 横浜市衛生研究所	吉川 簡江

10月27日（金）午前 計13題

第 7 会場

導・送・配水部門（漏水調査・漏水防止）
9:00～10:30（計6題）
座長：鳥取大学理事

5-32	水道管路における音声データを活用した漏水有無判別モデルに関する一考察 首都大学東京大学院	川村 和湖
5-33	中大口径管路における漏水検知に関する研究（Ⅱ） 川崎市上下水道局	奥野 浩史
5-34	漏水センサー最適配置計画モデルの有効性に関する一考察 首都大学東京大学院	荒井 康裕
5-35	無線型漏水監視システムによる計画的な無効水量の削減 日本水道管路管理協会	佐藤 伸二
5-36	大田市上下水道局による有収率向上対策 -計画的な漏水防止対策- フジ地中情報	百田 直史
5-37	有効率向上に向けた漏水防止対策 -効果的調査・修繕サイクルの実践- 福島市水道局	岡部 義史

導・送・配水部門（耐震化・漏水等）
10:35～12:05（計6題）
座長：首都大学東京大学院准教授 荒井 康裕

5-38	基幹管路耐震化率向上に向けた新たな取り組み -継手補強による耐震化の試み- 浜松市上下水道部	河村 雅彦
5-39	耐震補修弁の開発 清水金製作所	呉竹 賢二
5-40	既存水道施設の密な配筋に対応した耐震補強の工法検討 -継水小山給水所耐震補強工事- 東京都水道局	尾原 弘樹
5-41	散田給水所耐震補強における2次元解析モデルを用いた耐震計算の3次元効果導入手法 東京都水道局	小泉 知子
5-42	小口径における新たな不断漏水修理工法の開発 横浜市水道局	北川 裕一
5-43	漏水により水道管に発生する弾性波の特徴 大阪大学大学院	藤原 理絵

10月27日（金）午前 計12題

第 8 会場

導・送・配水部門（水運用①）
9:00～10:30（計6題）
座長：九州大学特別顧問

5-83	配水本管におけるバックアップ性能の強化 -ネットワーク機能による検証- 横浜須賀島上下水道局	中野 孝紀
5-84	配水区域における適正水圧の確保 -管網計算ソフトによる水圧シミュレーション- 東京水道サービス	松本 光平
5-85	運転記録の分析にもとづく導送配水施設の運転管理の支援 日立製作所	足立 進吾
5-86	送水ポンプ設備を活用したデマンドレスボンプの検討 -FS（Feasibility Study）事業成果報告- 日立製作所	難波 裕史
5-87	複数の配水区域における残留塩素濃度減少モデル式の作成 神奈川県企業庁	冨家 和行
5-88	急遽ろ過方式から戻る過方式への更新に伴う配水管路内の水質の変化 東京都市大学	武島 正佳

導・送・配水部門（水運用②）
10:35～12:20（計7題）
座長：香川大学准教授

5-89	水道システムの中核をなす基幹配水施設の廃止による再編完了 -長期的展望による「西園配水調整池」の廃止計画と準備作業・実施- 札幌市水道局	小山 嘉隆
5-90	配水管網再構築の事例報告 -水圧上昇に伴う水系切替- 神戸市水道局	大上 淳也
5-91	配水幹線元気プロジェクト 神戸市水道局	鶴長 孝二郎
5-92	管網解析に基づく配水区域のブロック化手法 大阪市水道局	藤本 和明
5-93	大井水橋橋構造変更に伴う東海給水所系配水区域の系統変更 東京都水道局	辻 俊也
5-94	大口径バルブ破損に伴う大規模な配水系統切替 横浜市水道局	安部 敬和
5-95	岩槻連絡管における流量調整設備を使用した水運用方法の検討 さいたま市水道局	川村 潤也

10月27日（金）午前 計13題

第 9 会場

熊本地震部門（初動態勢②）
9:00～10:00（計4題）
座長：東京大学大学院教授

10-20	平成28年熊本地震で把握した課題への対応（Ⅰ） 横浜市水道局	河原 和彦
10-21	平成28年熊本地震で把握した課題への対応（Ⅱ） 横浜市水道局	山崎 悟
10-22	熊本地震における課題と教訓 熊本市上下水道局	坂口 潔
10-23	益城町における横浜市水道局の支援 横浜市水道局	武村 盛史

熊本地震部門（災害・復旧状況）
10:05～11:35（計6題）
座長：日本水道協会水道技術総合研究所
主席研究員

10-24	熊本地震における貯水槽水道の活用調査 福岡大学大学院	柳橋 泰生
10-25	平成28年熊本地震による水道施設被害報告 熊本市上下水道局	林 建成
10-26	平成28年熊本地震における井戸復旧報告及び井戸補修の施工事例 熊本市上下水道局	上元 亮太
10-27	熊本地震における水道鋼管の被害分析ならびに今後の減災に向けた提言 日本水道鋼管協会	藪口 貴啓
10-28	液状化による配水管路被害予測法の熊本地震への適用と検証 神戸大学大学院	竹内 一朗
10-29	長周期地震動による受水槽スロッシングと配水の異常現象 岡山市水道局	岡田 啓典

10月27日（金）午前 計10題

研究発表の日程 —10月27日（金）午後—

第 1 会 場	第 2 会 場	第 3 会 場	第 4 会 場
事務部門（コスト削減・業務評価） 13:00～14:15（計5題） 座長：北海道大学公共政策大学院教授 石井 吉春	リスク管理・災害対策部門（災害支援・災害事故対応） 13:00～14:15（計5題） 座長：首都大学東京大学院教授 横山 勝英	浄水部門（藻類対策） 13:00～14:30（計6題） 座長：豊橋技術科学大学教授 井上 隆信	給水装置部門（その他） 13:00～14:00（計4題） 座長：高松市上下水道局次長 西村 重則
1-52 東京都水道局における電気購入の入札拡大 東京都水道局 高嶋 直人	9-22 南海トラフ巨大地震における被害想定と水道事業体の地震への備え —地震等緊急時対応特別調査委員会 応援体制検討小委員会の報告より（Ⅰ）— 高松市上下水道局 武上 博宣	4-54 浄水場内で増殖する小型藻類の増殖抑制技術検討（Ⅱ） 中川 智之	6-29 給水装置工事に係る私有地埋設承諾書の写し提出の廃止 —条例改正と申請手続の変更— 京都市上下水道局 塩見 和久
1-53 資源の再利用によるコスト削減 —芦屋市における2つの削減策— 芦屋市上下水道部 岩崎 裕果	9-23 支援情報データベースの構築と応援水道事業体受入マニュアルの基本検討 —地震等緊急時対応特別調査委員会 応援体制検討小委員会の報告より（Ⅱ）— 日本水道協会 中尾 信博	4-55 大阪広域水道企業団における植物プランクトンの影響とその対応 大阪広域水道企業団 奥野 隆弘	6-30 水道施設情報管理システムと給水装置台帳電子ファイリングシステムの統合 広島市水道局 松浦 恵太
1-54 上下水道料金システム更新時のコスト削減策 —郵便料金削減への挑戦— 宇部市上下水道局 大林 裕幸	9-24 南海トラフ巨大地震における応援・受援事業体の判定方法と応援体制の検討例 —地震等緊急時対応特別調査委員会 応援体制検討小委員会の報告より（Ⅲ）— 日本水道協会 米田 創志	4-56 浄水場内で発生したジェオスミンの原因調査及び対策 高松市上下水道局 岩部 彩美	6-31 汎用ソフトを活用した指定給水装置工事事業者登録システムの構築 丸亀市水道部 佐々木 武志
1-55 水道料金の取納等に係る包括委託の業務評価 松山市公営企業局 池田 克典	9-25 大規模水質事故を受けた埼玉県企業局の水質検査体制 埼玉県企業局 宇津木 紀昭	4-57 急速ろ過池及び横流式沈澱池遮光の有効性 —中塩管理と沈澱池での藻類発生抑制— 高松市上下水道局 野口 幸夫	6-32 給水装置工事検査業務の外部委託 堺市上下水道局 松葉 良生
1-56 委託業務評価指標（CEI）を用いたセルフモニタリング 月島テクノメンテサービス 記村 信広	9-26 大阪府河内地域における広域的な水道水質管理 —汚染源等の把握— 大阪広域水道企業団 森 昭啓	4-58 沈澱池傾斜管部における遮光による藻類対策調査 北千葉広域水道企業団 上野 宗徳	
10月27日（金）午後 計5題	10月27日（金）午後 計5題	10月27日（金）午後 計6題	10月27日（金）午後 計4題

※ 第5会場～第9会場の研究発表はなし。

部門別発表数

事務60、計画33、水源・取水11、浄水80、導・送・配水95、給水装置32、機械・電気・計装22、水質52、リスク管理・災害対策42、熊本地震29、英語10、計466

※発表論文のタイトルおよび発表者とその所属は8月31日現在のものです。

発表者各位へ

- 発表するセッションの開始1時間前（午前最初のセッションは30分前）までに該当発表部門の会場受付へお越しください。
- 研究発表時間は1人12分間で質疑応答時間は3分です。
- 研究発表終了後も質疑応答が終了するまで必ず発表者席で待機してください。
- 発表者の欠席などにより発表時間が繰り上がることがあります。
- 欠席する場合は必ず前もってご連絡ください。登壇者の変更は共同執筆者に限ります。